

第 86 回 ここからカフェ九品仏

酷暑を乗り切るフレイル予防
健康維持と健康増進
握力測定をしてみましょう

日時：2025 年 9 月 20 日（土）
13:30 ～ 15:30
講師：世田谷区 国保・年金課特定健診係
委託先 株式会社メディヴァ 保健師・管理栄養士
会場：九品仏複合施設 2 階
世田谷区奥沢 7-35-4
参加費：300 円 ※要予約
申込・問合せ：090-3961-8514

第 113 回 お隣さまお茶会

朗 読
♡ 恋慕の裏側 ♡

朗読の会「けやき」 齋藤雅美さん

日時：2025 年 9 月 8 日（月）
13:30 ～ 15:30
会場：space えんがわ inn
玉川田園調布 2-12-6
参加費：500 円 ※要予約
申込・問合せ 03-3721-8699
玉川まちづくりハウス

第 57 回 玉田シニアサロン

コミュニティ・ヒストリーを考える
（街角保健室プロジェクトから）

伊藤雅春さん小西玲子さん

日時：2025 年 9 月 7 日（日）
14:00 ～ 16:00
会場：玉川田園調布会館
玉川田園調布 1-9-12
参加費：500 円

ハウスの会員数

特別正会員 5 名
正会員 28 名
ニュース会員 58 名

9 月号にかかわったひと

伊藤雅春 染野和夫
高橋阿貴 小西玲子
柴田希美絵 池田麻未
昆野敬子 有賀由利加

8

ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細は HP <https://tamamati.com/> にてご確認ください

20 日（水） 街角保健室 / スペースえんがわ inn
23 日（土） ここからカフェ九品仏 / 九品仏複合施設 2 階
28 日（木） 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所

9

ハウスカレンダー

4 日（木）	楽多の会定例会 10:00 ～ 12:00	デイホーム玉川田園調布
5 日（金）	住宅まちづくり総合相談 13:30 ～ 15:30	砧総合支所
7 日（日）	玉田シニアサロン 14:00 ～ 16:00	玉川田園調布会館
8 日（月）	お隣さまお茶会 13:30 ～ 15:30	スペースえんがわ inn
10 日（水）	プレーリヤカーでの公園遊び 10:00 ～ 12:30	奥沢（タイヤ）公園
11 日（木）	住宅まちづくり総合相談 13:30 ～ 15:00	玉川総合支所
12 日（金）	玉川まちづくりハウス定例運営委員会 9:30 ～ 11:00	スペースえんがわ inn
16 日（火）	プレーリヤカーでの公園遊び 10:00 ～ 12:00	ねこじゃらし公園
18 日（木）	プレーリヤカーでの公園遊び 10:00 ～ 12:30	奥沢（タイヤ）公園
20 日（土）	ここからカフェ九品仏 13:30 ～ 15:30	九品仏複合施設 2 階
21 日（日）	タマデンマルシェ 15:00 ～ 17:00	アビターレ前（玉田 1-13-1）
25 日（木）	住宅まちづくり総合相談 13:30 ～ 15:30	玉川総合支所



玉川まちづくりハウスニュース

みんなでホイッ！

9
2025

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085

東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 Email house@tamamati.com
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人（NPO 法人）です。

ここからカフェ九品仏「東京大空襲」を観る会



8 月は 23 日（土）13 時半～、前号 8 月号でもお伝えいたしましたが、「ここからカフェ九品仏」（場所：九品仏まちづくりセンター 2 階）で「東京大空襲 2025 年製作／日本 監督 松本和己」を観る会が開催されました。

…1945 年 3 月 10 日、東京の下町を焼夷弾の嵐が襲った。戦争の終結を急ぐアメリカ軍は、2 時間半で 10 万人もの命が失われた東京大空襲をはじめ、山の手空襲、八王子空襲、さらに日本各地で爆撃を実行していく。すべてが焼き尽くされるなか、浅草の言問橋を渡り家に逃げ込んだ上野さんは、火災旋風に人が巻きあげられる様子を目撃する。笹川さんは浅草から上野方面へ逃げようとするが進むことができない。同じ頃、深川では濱田さんが炎をくぐり抜けて清澄庭園に逃げ込み、関野さんは中川の土手沿いの防空壕で耐えていた。…

空襲を体験した 31 名の証言と膨大な資料をもとに制作されたドキュメンタリー。

当日は 27 名が参加し、本来なら 2 時間余りのこの作品を遠藤さん（九品仏在住 ※上野毛ダンディーズの一員として活動中）が 1 時間 17 分に短縮してくださったものを観ました。

焼夷弾の酷さ、火事になると炎だけでなく、熱風が襲うこと、酸素が欠乏したことで、狭い防空壕や下水管の中で折り重なるように大勢の方が亡くなったこと、東京大空襲の後にも日本各地に B29 の爆撃は続き、終戦 6 時間前まで続いたこと。戦争孤児や、引き取られた親戚宅等でのつらい体験、映画の後のお茶の時間に聞いた参加者のお一人からの、帰還された肉親の家庭内暴力やモルヒネ中毒の話も、どれも二度と戦争をしないためにも心に留めててかなくてはと思うお話でした。映画に登場する、実際に空襲を体験された方のお話は、静かな語り口でも、現実のものとして心に迫り、戦争をこれまでとは違う視点からみることができて、貴重な体験でした。

証言者として映画に登場されたお一人、今野春雄さんは中町在住、この日も解説してくださいました。「DVD いつでもお貸ししますよ。」とおっしゃってくださっていますので、機会を見つけて上映できたらと考えています。一年に一度、でしかないかもしれませんが、戦争を振り返ることは大切なのではと思います。

小西玲子

※ 上野毛を中心に集まった男性のグループで、退職後、地域のために何かをしたい！と集まったメンバーで構成されています。月に 1 度、定例会を開催し近況報告をしたり、外国から来られた方々に対し、英語を使用しての困りごと解決についてや、地域の子どもたちにできることについて話し合っています。

九品仏地区の多様な活動団体による街角保健室2025

2023 年度、玉川まちづくりハウスは地域の団体とネットワークを組み、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉振興助成事業からの助成を受け「九品仏地区の多様な活動団体による街角保健室ネットワークの構築」プロジェクトを行いました。

地域活動はそれぞれが忙しく、横につながることが大切と思ってもなかなかその機会をつくることができません。その意味でも、知らなかった活動や人に会うことが出来たこの取り組みは、参加してくださったみなさん、「よかった！」と思ってくださいました。

2024 年度はお休みしてしまいましたが、2025 年度世田谷区の「地域の絆連携活性化補助金」を得て再び取り組もうと考えています。

再び！ 街角保健室をはじめます このまちに あちこち 街角保健室を一緒に作いませんか？

10 月 12 日（日） 街角祭り開催

会場：デイ・ホーム玉川田園調布

10:00 ～ 16:00

ポッチャ・モルック・ハンドアーチェリーなどの子どもも高齢者も障がいのある方も誰でも参加できるスポーツ体験。

福祉の様々な相談ごと地域の活動紹介など

毎月、毎週、まちのどこかで人が集い、暮らしの心配事を聞いてもらえる場所のあるまちを育てていきましょう！

「街角保健室」プロジェクト実行委員会

- ・九品仏あんしんすこやかセンター
- ・ふくろうクリニック自由が丘（地域医療）
- ・（一社）輝水会（レジリエンス・スポーツ）
- ・オフィス侑（ファイナンシャルプランナー）
- ・玉川まちづくりハウス（コミュニティデザイン）
- ・とまりぎ菜園（世田谷生涯現役ネットワーク 地域デビューの会） 他

各団体が行っている活動を横につなげることで、地域住民に対する幅広い入り口と多彩なサービス（サロン、マルシェ、だれでも食堂、スポーツ療法、終活の相談、制度の紹介、医療的対応等々）を提供することを目標にしています。



2023 年度 街角保健室プロジェクト報告書

暮らしのつばやき 9月



東京を楽しむお盆

今年のお盆はどこにも旅行にいかなかったのですが、その代わりに新宿歌舞伎町にある旅館に泊まりに行きました。

宿泊客はほぼ海外の方々ですが、最上階には露天風呂があり、佇まいは和風で、お部屋も畳で、きれいな雰囲気です。

夕飯を近くの蕎麦屋で食べたのですが、いかにも新宿らしい二人連れ（金髪青年とか年齢差カップルとか華やか!）の方々が多くて、テーマパークのようでした。



夏の終わり

気温としてはまだまだ暑くてそんな感覚になれないですが、お盆を過ぎると日が暮れるのが少し早くなるような気がします。

夜に鳴く虫の声もすこし今までとは違うものになってきました。こんなに気温や天候の変化が激しいと、虫や鳥などの小さな生き物の生態系も変わってしまうのではと心配ですが、今はまだツクツクホウシの声に秋を感じていられるようです。

毎月「地域 GAYAGAYA」は奥沢地誌保存会の染野和夫さんをお願いし、この辺りの歴史の歩みを掲載させていただいています。今号もすでに原稿はいただいています。「学童疎開」のお話です。その中で取り上げられている子どもたちの絵ハガキがあまりに素晴らしく、いつものレイアウトでは小さくなりすぎてみる事が出来ない！ 次号紙面を少し拡大しその絵ハガキも少しはわかるようにして、みなさんにお届けしたいと考えました。楽しみにして下さった方には申し訳ないのですが、次号をぜひお待ちください。

タマデン marche 通信 拡大版

8 月、マルシェは暑さもあり、お休みいたしました。

次回開催 9 月 18 日（日） 15 時～17 時 7 月と同じく、夕市です。是非お出かけください！

カリフォルニアから約 4 年ぶりに来日されていたアーティストの Sue Mark さんの企画で、8 月 2 日にワークショップを開催しました。Sue さんと Bruce さんお二人のユニット marksearch の活動については、2021 年に、今やマルシェの中心人物、有賀由利加さんからのレポートでハウスニュースで紹介しました。今号も有賀さんからの報告です。



～タマデン marche とのつながり～

Sue さんと玉川田園調布との出逢いは、まだ、パン屋「ビゴ」跡地で開催していた当時のタマデンマルシェ。通り沿いにあったピンクやブルーの一軒家の空き家を活用し Sue さん達がアートプロジェクトを始めたことがきっかけです。

2019 年、Sue さん達は東京でプロジェクトをスタートした後、当時は東北に移動しプロジェクトの展開を予定していたものの、新型コロナが流行し状況が急変。東京での活動を継続せざるを得ず、世田谷区でプロジェクトを継続することになりました。

コミュニティのアーカイブをテーマに、様々な活動を世界中で展開されているお二人。前回の世田谷でのプロジェクトでは「暮らし」「日常」に目を向け、生活に潜む心の声や音を収集して、作品として「声の記念碑」を制作しました。玉川田園調布を拠点として九品仏商店街や浄真寺などで「声の記念碑」と共に練り歩いたり、とてもユニークなアイデアで地域にコミュニケーションの機会や場を作ってくださいました。



九品仏商店街や浄真寺などで「声の記念碑」と共に練り歩いたり、とてもユニークなアイデアでコミュニケーションの機会や出逢いの場を作る

～カリフォルニアでの活動と東北でのプロジェクト再開に向けて～

2021 年に帰国してからも、まちづくりハウスの活動や玉川田園調布のコミュニティに関心を持ってくれていた、Sue さん。いつか東北でも活動したいという想いがあり、プロジェクト再開に向けてこれまでのプロジェクトの意義やこれからのコミュニティに必要とされることを考えてきました。オンラインを中心に 1 年以上の話し合いを重ね、言語やコミュニティの違いなども乗り越え、理解を深めながら他の地域との連携の可能性も模索しています。ようやく今、東北でのネットワークも少しずつ構築し始めています。現在は、縁が繋がった蔵王でアーティストインレジデンスの活動を主軸に事業を展開している「一般社団法人とおがったプロジェクト」のメンバーと、今後に向けて話し合いを進めています。今回のワークショップにも、蔵王のレジデンスの方々に参加いただき、交流することができました。2026 年の秋ごろに、実施に東北に滞在し、プロジェクトを実施できるよう準備を進めています。

～タマデン Marche とコラボし、プロジェクトを行っていきます～

8/2 に実施したワークショップは「Climate Cafe」という手法で、これまで欧州を中心に広まって来ました。市民が気軽に気候変動、環境問題について考えるきっかけを提供する場としても機能しますが、一番大切なことは自分の言葉で自分の想いを話せる、安心して吐露できる場があること。これから、タマデンマルシェや様々な場を通じて、Sue さんに協力していただきながら、多様な意見を受け止める場、気軽な意見交換の場や交流機会を皆さんと一緒に作っていきたいと感じています。



ワークショップ風景
蔵王のレジデンスの方々も参加



黒の浴衣

家族で行った夏祭りのイベントで貸し出しがされていて、この夏初めて浴衣を着ました。真っ黒の地で、裾の方に水色とオレンジの朝顔、同じ色合いの蜻蛉が飛んでいるものを選び、帯はマルチカラーの織物っぽいもので合わせてもらいました。浴衣だと、普段は着ないような色の合わせ方をすることができてとても楽しかったです。夏のよい思い出になりました。



祭りの作法

浴衣の着付けをしてくださった女性が浅草の本物のお祭りの法被を着こなしていて、地下足袋もきりっとしていてかっこよかったです。法被は袖口をまくと裏地が表と違う模様になっていて粋でした。

実際にお神輿を担ぐときは、袖をまくったりしてはいけないそうで、それはお神輿で神様を運ぶ際は正装でいなくてはいけないから、というルールだそうです。お祭りにも様々なルールがあることを学びました。（貴）